

■胃がんとは

胃がんとは、胃の壁の中の粘膜内の細胞が、何らかの原因でがん細胞になったものです。40歳後半から増加します。女性より男性の方が多くなっています。

喫煙・塩分の多い食生活が胃がんのリスクを高め、野菜・果物の摂取がリスクを減少させると考えられています。また、胃粘膜に住みつく、ヘリコバクターピロリという細菌の持続感染が胃がんのリスクの要因と考えられています。

■胃がん検診って…?

市の胃がん検診(胃部エックス線撮影)は、集団検診で実施しています。検査時間は受付～検査終了までおよそ1時間～1時間30分。胃部エックス線撮影検査自体は5分程度です。

※安全で適切な検査を受けていただくため、体調により検診をお受けいただけない場合があります。

■検診の流れ

前日の夕食は夜10時までに済ませ、検査当日は絶食です。水分摂取や服薬については制限があります。



当日市立保健センターで受付・問診の後、検診バス(右写真)の中で検査を実施します。バスの中で発泡剤とバリウムを飲み、撮影が開始になります。以前に比べてバリウムの量も145mlと減り、市の検診では、イチゴ味になり、飲みやすくなっています。検査台の上では、体を仰向けやうつぶせ、左右に回転させたりしてさまざまな角度から撮影を行います。撮影終了後、バリウムが腸内で固まるのを防ぐため下剤を飲んでいただき検査は終了です。その後、白いバリウム便が出ます。



■胃がん検診のご案内

胃がんは早期発見・早期治療で治るがんとなりました。痛み、吐き気、食欲がない、胃が重いなどの自覚症状がある場合もありますが、早期では多くが、自覚症状がありません。かなり進行するまで気づかないことも多いのです。早期胃がんの場合は、多くの方が検診によって発見されています。症状の有無にかかわらず、毎年定期的に検診を受けることが、早期発見のために最も重要なことです。市では以下の日程で胃がん検診を実施しています。ご自身の健康のため、ぜひ受診ください。

※定員になり次第予約を締め切ります。希望される人はお早めにお問い合わせください。

▶日程 11月26日(火)、12月19日(木)、1月9日(木)、1月21日(火)、1月30日(木)、2月5日(火)、2月13日(木)
※時間はすべて午前中。大腸がん検診と同時に受診できます。

▶予約・問合せ 地域保健課 (☎337-3126)

胃がん検診を受けて
牛浜龍男さん(北新町)



私が胃がん検診を受けようと思ったきっかけは、気がつかない身体の症状を検診で良くも悪くも受診結果を知ることでの健康管理に少しでも意識がわくのではないかと

思ったからです。

検診バスは、やや狭いながらも機器も効率よく設置され違和感はありませんでした。バリウムをゆっくり飲み干しましたが、以前のものより重たくないなと、感じました。

誰にでも病気は訪れますが、その時にあわてないように、予防と早期発見で家族の不安顔を払拭するためにも健康管理には定期的な健診は大事なことと考えます。

イラスト：がん予防キャンペーン大阪実行委員会作成資料より

特集 がん検診のススメ

命を救います
早期発見・治療が

日本では、2人に1人が、がんにかかるといわれ、3人に1人が、がんで亡くなっており、死亡者数は年間30万人を超える状況となっています。一方で、医療の進歩により、がんは早期に発見され、治療すれば、完治する確立が高い病気だといわれており、自覚症状がないうちに、がん検診を受けることがとても大切です。

▼問合せ 地域保健課(☎337-3126)

がんは死亡原因の3割

がんは、日本人の死亡原因の第1位で、今や国民病と言われています。

市内においても、死亡者全体の約3割がんで亡くなっています。また、がんは自覚症状が出た頃には、進行しているケースが多く、早期発見・早期治療が重要です。

高いといえないがん検診率

しかし、市のがん検診の受診率は、全国平均が20～30%

のところ、胃がんについては7.3%、一番高い子宮がんでも30.6%と決して高いとはいえません(下表参照)。特に胃がんは、日本人に多いがん(男性では罹患者数第1位、女性でも第3位)ですが、検診があまり受けられていない状況です。

そこで、胃がん検診について少し詳しくお知らせします。

松原市のがん検診受診率

	受診率(平成24年度)	がんが発見された人数(平成23年度)
胃がん	7.3%	5人
大腸がん	19.3%	27人
肺がん	11.7%	2人
子宮がん	30.6%	14人
乳がん	20.5%	13人

※前立腺がん検診は、市独自のがん検診として平成24年度から実施し、平成24年度の受診者数は3821人でした。

◎市では、以下の検診を実施しています

※希望される人はお早めにお問い合わせください。定員になり次第予約を締め切ります。

	対象	内容	費用	実施場所
胃がん検診	満30歳以上	問診・胃部バリウム造影	無料	市立保健センター
大腸がん検診	満40歳以上	問診・便潜血検査	無料	市立保健センター・医療機関
肺がん検診	満40歳以上	問診・胸部レントゲン	無料	市立保健センター
子宮がん検診	満20歳以上の女性で西暦奇数年生まれ	問診・視診・内診・頸部細胞診	無料	市立保健センター・医療機関
乳がん検診	満20歳以上の女性で西暦奇数年生まれ	問診・視触診・20歳代はエコー検査・30歳代以上はマンモグラフィ検査	1000円	医療機関
前立腺がん検診	満40歳以上の男性	問診・PSA値測定(血液検査)	無料	医療機関

☆検診実施医療機関：広報まつばら4月号と一緒にお配りしている保健事業案内をご覧ください。地域保健課へお問い合わせください。

☆予約方法：実施場所が市立保健センターの場合地域保健課へ。医療機関の場合は直接医療機関へ。

☆子宮がん・乳がん検診は、昨年度対象者で未受診の西暦偶数年生まれの人も、今年度受けることができます。その際、地域保健課での受診票発行の手続きが必要です(16ページに関連記事)。